

# 南伊勢町事業管理シート

 H 31 年度事業計画用

 H 30 年度事業結果用

事業名	健康管理庶務事務	平成30年度	課名	福祉課	所属 長名	広田 真理子	担当 係長 名	山本昌代
		平成31年度		福祉課		広田 真理子		神野有美

会計名	一般会計	科目名(目)	・保健衛生総務費 ・予防費
-----	------	--------	------------------

総合 計画	まちづくりの目標				
	政策名				
	施策名				
	細施策名				
	施策のめざす姿				
	町民との協働				
	まちづくり指標		現状値 (H26)		目標値 (H30)

**1. 施策における位置づけ** ※施策に基づかない複数の事業を下支えする内部管理経費や繰出金、予備費などの経費は省略可

① 施策の基本方向	
② 施策からみた事業の展開体系図	
③ 施策の展開の説明	

2. 事業の意図と目標(細事業を引用する場合は、事業整理表の番号を付すこと)

①事業意図【事業のめざす姿】	②事業概要
意図は、全ての町民が健康状態を維持向上できるようになる。そのための業務管理事務体制が継続すること。	保健・医学・看護関連書籍を購入し専門的知識を高め、町民の健康管理に役立てる。

③事業の主要指標と目標値 ※指標の定量化が難しいものは定性的な表現を用いて、達成状態のイメージを明確に記述すること							
指標名		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
①	成果指標	改善の取組み件数	目標値	1	1	1	
			実績値	1	1		
	活動指標	業務改善の打合せ	目標値	2	2	2	
			実績値	2	2		
②	成果指標		目標値				
			実績値				
	活動指標		目標値				
			実績値				

3. 平成 30 年度の成果

(1)事業成果 (事業計画用の場合は計画時点での成果見込を記述)	
保健・医学・看護関連書籍を購入して回覧したり、保健師ミーティングの時間をもち、職場外研修会で学んだことや知り得た情報を共有して、専門的知識を高めることに努めた。	

(2)業務・サービスの改善の取組結果			
サービス	結果		
	低下	向上	
人 (定数・能力)			
モノ			
コスト			
時間			
情報・ ノウハウ		↗	保健、医学、看護関連書籍を購入し専門的知識を高めることができた。
協働関係・ 地域文化・			
住民サービス			

4. 平成 30 年度事業の総合評価

(事業計画用の場合は計画時点での評価見込を記述)

事業の成果(所属長評価)			評価の説明	
① 達成度	事業目標は、達成できたか。	達成度 (4段階評価)		
② 効率性	効率度:事業は、効率的に推進できたか	効率度 (4段階評価)	出来た	効率的な運用ができた。
③ 必要性	協働のパートナーとの役割分担は適切だったか。(公的関与の必要性として妥当か)	必要性 (適・要改善)		
④ 有効性	1.事業の意図に対して、指標の設定は適切だったか	妥当性 (適・要改善)		
	2. 事業の意図に対して、細事業の構成は適切だったか(過不足はないか)	過不足度 (適・要改善)		
	3. 施策全体からの事業の展開、事業の意図は適切だったか	方向性 (適・要改善)		
今後の課題など各評価を踏まえた総括	健康管理事業の庶務を適正に管理していきたい。			

## 5. 平成 31 年度に向けた改善の方向性

平成31年度の方向性	平成 31 年度の方向性に影響を与える環境要因	
	外部環境	内部環境
<b>（事業の方向性）</b> 保健・医学・看護関連書籍を購入して回覧したり、保健師ミーティングの時間を持ち、職場外研修会で学んだことや知り得た情報を共有して、専門的知識を高めることに努める。より住民のニーズにあった活動ができるよう、動きやすい環境づくりに努める。	<b>（町民ニーズ、地域環境）</b> 【機会（強み）】  【脅威と課題】	<b>（事業推進）</b> 【強み】  【弱みと課題】
	<b>（業務・サービスの改善の方向性）</b>	<b>（他自治体、国、地域動向等）</b> 【機会（強み）】  【脅威と課題】

## 6. 事業内容

平成 31 年度	<b>（事業の活動内容）</b> 保健・医学・看護関連書籍を購入し専門的知識を高めるとともに人・物・金・時間などの効率化や効果化、業務の円滑化のための検討を行う。  <b>（業務・サービス改善の活動内容）</b>
平成 32 年度 <small>（前年度と異なる内容のみ記入）</small>	

## 7. 事業費予算内訳（平成 31 年）

※査定後に事業費に変更があれば各課で修正すること

（単位：千円）

経費区分		事業費	国・県	町債	その他	一般財源
枠外 経分 対象	義務的経費	①人件費	0			
		②公債費	0			
		③扶助費	0			
	④繰出金のうち義務的経費相当分	0				
	⑤一部事務組合負担金	0				
対象 経費	政策的経費	⑥重点事業分	0			
		⑦その他分	0			
	⑧ ①～⑦以外	236				236
合計		236	0	0	0	236

(※細事業ごとに担当者が記入すること)

※指標の定量化が難しいものについては定性的な表現を用いて、達成状態のイメージを明確に表すこと

細事業番号	担当者名		予算科目名(目)の名称	細事業名	対象	意図(事業のめざす姿)	成果指標 ※新規事業は事業開始年度以降の値を記入			事業内容	協働のパートナーと果たす役割	活動指標 ※新規事業は事業開始年度以降の値を記入			事業費情報(単位:円)			
	H30年度担当	H31年度担当					指標名	目標値	実績値			指標名	目標値	実績値	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)		
1	神野 有美	神野 有美	予防費	健康管理庶務事務	役場	最小の経費で業務を円滑に行いたい	改善の取組み件数	29	1	1	(事業の活動内容) 保健・医学・看護関連書籍を購入し専門的知識を高めるとともに、人・物・金・時間などの効率化や効果化、業務の円滑化のための検討を行います。  (業務・サービスの改善内容)	(パートナー名と果たす役割)  (課の果たす役割)	業務改善の打合せ	29	2	2	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
								30	1	1				30	2	2		
								31	1					31	2			
2	神野 有美	神野 有美	保健衛生総務費	健康管理庶務事務				29			(事業の活動内容)  (業務・サービスの改善内容)	(パートナー名と果たす役割)  (課の果たす役割)		29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
								30						30				
								31						31				
3								29			(事業の活動内容)  (業務・サービスの改善内容)	(パートナー名と果たす役割)  (課の果たす役割)		29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
								30						30				
								31						31				
4								29			(事業の活動内容)  (業務・サービスの改善内容)	(パートナー名と果たす役割)  (課の果たす役割)		29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
								30						30				
								31						31				
5								29			(事業の活動内容)  (業務・サービスの改善内容)	(パートナー名と果たす役割)  (課の果たす役割)		29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
								30						30				
								31						31				
6								29			(事業の活動内容)  (業務・サービスの改善内容)	(パートナー名と果たす役割)  (課の果たす役割)		29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
								30						30				
								31						31				
7								29			(事業の活動内容)  (業務・サービスの改善内容)	(パートナー名と果たす役割)  (課の果たす役割)		29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
								30						30				
								31						31				

事業費合計		
決算額	1,668,125	1,740,351

# 南伊勢町事業管理シート

 H 31 年度事業計画用

 H 30 年度事業結果用

事業名	監査事業(運営事務)	平成30年度	課名	議会事務局	所属 長名	上村裕実子	担当 係長 名	古谷恭子
		平成31年度		議会事務局		山本 秀歩		古谷恭子

会計名	一般会計	科目名(目)	・監査委員費 ・ ・
-----	------	--------	------------------

総合計画	まちづくりの目標				
	政策名				
	施策名				
	細施策名				
	施策のめざす姿				
	町民との協働				
	まちづくり指標		現状値 (H28)		目標値 (H30)

**1. 施策における位置づけ** ※施策に基づかない複数の事業を下支えする内部管理経費や繰出金、予備費などの経費は省略可

① 施策の基本方向	
-----------	--

**② 施策からみた事業の展開体系図**

--	--

③ 施策の展開の説明	監査委員や職員の研修会への参加等によりスキルアップし、誤りや不正を見逃さない体制づくりをする。町民の利益や福祉の向上に繋がる指摘・監査報告を心がける。
------------	---

2. 事業の意図と目標(細事業を引用する場合は、事業整理表の番号を付すこと)

①事業意図【事業のめざす姿】	②事業概要
町の財務事務の執行や経営に係る事業の管理のほか、行政事務一般について、事務の適法性・能率性の確保を図るため、監査委員監査を実施する。	定期的に行う「定期監査」・「例月出納検査」・「決算審査」、必要に応じて行う「行政監査」・「随時監査」・「財政援助団体等監査」、請求に基づき行う「住民監査請求」など、対象に応じて監査を実施する。 これらの監査によって、町の財務事務や行政事務の執行などが法令等にしたがって、適正に行われているか、また、合理的かつ効率的に行われているかどうかを判断し、必要があれば改善の指示や町長への意見書の提出などを行う。

③事業の主要指標と目標値 ※指標の定量化が難しいものは定性的な表現を用いて、達成状態のイメージを明確に記述すること					
指標名			平成29年度	平成30年度	平成31年度
①	成果指標	監査意見や指摘に対する各課の回答率	目標値 100	100	100
			実績値 100	100	
	活動指標	監査回数	目標値 16	16	16
			実績値 16	36	
②	成果指標		目標値		
			実績値		
	活動指標		目標値		
			実績値		

3. 平成 30 年度の成果

(1)事業成果(事業計画用の場合は計画時点での成果見込を記述)	
	・例月出納検査・決算審査・定期監査を通じて、町の財務事務の執行や経営に係る事業の管理のほか、行政事務一般について、事務の適法性・能率性の確保に寄与することができた。

(2)業務・サービスの改善の取組結果		
サービス	結果	
	低下	向上
人 (定数・能力)		
モノ		
コスト		
時間		↗ 定期監査・決算審査時のスケジュール管理表を作成したことで、執行部への周知や監査報告の合議など、一連の業務をスムーズに遂行できた。
情報・ノウハウ		↗ 年間を通じて監査を実施することにより、監査のノウハウを蓄積することができた。
協働関係・地域文化・住民サービス		

4. 平成 30 年度事業の総合評価

(事業計画用の場合は計画時点での評価見込を記述)

事業の成果(所属長評価)			評価の説明	
① 達成度	事業目標は、達成できたか。	達成度 (4段階評価)	達成できた	監査委員の指摘や意見に対する回答は、時間がかかるものもあったが、実績値が目標値に達していた。
② 効率性	効率度:事業は、効率的に推進できたか	効率度 (4段階評価)	よく出来た	決算審査・定期監査は期間を定めて集中的に審査を実施した。また、スケジュール管理表を作成したことで、執行部への周知や監査報告の合議など、一連の業務をスムーズに遂行できた。
③ 必要性	協働のパートナーとの役割分担は適切だったか。(公的関与の必要性として妥当か)	必要性 (適・要改善)	適	各監査における監査委員の義務と果たすべき役割は「地方自治法」により定められているところであり、法に基づいて適正な監査を執行することができた。また、事務補助職員においても、書類の事前提示やスケジュール管理により、「標準町村監査基準」に定められる監査対象の十分な研究、能率的な監査の実施することができた。
④ 有効性	1.事業の意図に対して、指標の設定は適切だったか	妥当性 (適・要改善)	適	成果指標・活動指標ともに、法令に定められた監査の実施を満たし、かつ適切な指標となっていた。
	2.事業の意図に対して、細事業の構成は適切だったか(過不足はないか)	過不足度 (適・要改善)	適	法令に定められた監査を実施したうえで、監査委員からの口頭による指摘や、報告書の提出を行った。
	3.施策全体からの事業の展開、事業の意図は適切だったか	方向性 (適・要改善)	要改善	
今後の課題など各評価を踏まえた総括	・監査委員の研修会への参加等を推奨し、監査委員の資質向上を図れた。監査報告時の両監査委員の意見に対して十分な刷り合わせができた。今後も財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の公正かつ能率的に運営されていることの監査を心がける。			



## 5. 平成 31 年度に向けた改善の方向性

平成31年度の方向性	平成 31 年度の方向性に影響を与える環境要因	
	外部環境	内部環境
<b>(事業の方向性)</b> ・監査により、町の財務事務の執行や経営に係る事業の管理のほか、行政事務一般について、事務の適法性・能率性が確保され、監査委員が監査責任を果たせるように努める。	<b>(町民ニーズ、地域環境)</b> <b>【機会(強み)】</b> ・監査機関の認識の高まりから、監査委員の役割や指摘・指導に対する期待感が高まっている。  <b>【脅威と課題】</b> ・住民監査請求等行う場合は法令を遵守し徹底できるように、監査体制の充実を図る。	<b>(事業推進)</b> <b>【強み】</b> ・監査を受ける側の職員に監査での指摘事項に対する改善の意識が年々向上しており、指摘を受ける回数が減ってきている。  <b>【弱みと課題】</b> ・職員の監査に対する認識をさらに深め、啓発することで、より能率的な行政の運営が継続できる状況を作る必要がある。
	<b>(業務・サービスの改善の方向性)</b> ・監査委員の研修会への参加等を推奨し、監査委員の資質向上に努める。また、同時に職員も研修会への参加等により、スキルアップを図ることにより、誤りや不正を見逃さない体制づくりに努める。	<b>(他自治体、国、地域動向等)</b> <b>【機会(強み)】</b> ・自治法の改正に伴い、他市町との事務局の共同設置が可能となった。  <b>【脅威と課題】</b> ・現在は近隣市町との事務局の共同設置の具体案は何もないが、今後も県内での情報交換の場を利用するなどして、情報収集と、メリットやデメリットの分析など、必要性について議論していくことが必要。

## 6. 事業内容

平成 31 年度	<b>(事業の活動内容)</b> (事業の活動内容) ・例月出納検査を毎月実施。 ・決算審査を年1回(3日程度)実施。 ・定期監査を年1回(2日程度)実施。 ・財政健全化法に係る監査(基金運用状況審査・健全化判断比率審査・資金不足比率審査)を年1回実施。 ・住民監査請求に応じて、監査を実施。
平成 32 年度 <small>(前年度と異なる内容のみ記入)</small>	<b>(業務・サービス改善の活動内容)</b> ・監査委員の指摘に対する町からの回答で、時間がかかっている課に対しては所属長を通じてアプローチを行う。 ・口頭での指摘や意見に対して、改善が見られない場合には、町長に対して意見書を提出し、問題点の早期解決を図る。 ・監査委員の指摘に対しての各課の改善は、監査委員と協議を行い、ホームページで公表するなどし、情報提供を検討する。

## 7. 事業費予算内訳 (平成 31 年)

※査定後に事業費に変更があれば各課で修正すること

(単位:千円)

経費区分		事業費	国・県	町債	その他	一般財源
枠外 経分 対象	義務的経費	①人件費	7,754			7,754
		②公債費	0			
		③扶助費	0			
	④繰出金のうち義務的経費相当分	0				
	⑤一部事務組合負担金	0				
対象 経費	政策的経費	⑥重点事業分	0			
		⑦その他分	0			
	⑧ ①～⑦以外	1,402				1,402
合計		9,156	0	0	0	9,156

(※細事業ごとに主担当者が記入すること)

※指標の定量化が難しいものについては定性的な表現を用いて、達成状態のイメージを明確に表すこと

細事業番号	担当者名		予算科目名(目)の名称	細事業名	対象	意図(事業のめざす姿)	成果指標 ※新規事業は事業開始年度以降の値を記入			事業内容	協働のパートナーと果たす役割	活動指標 ※新規事業は事業開始年度以降の値を記入			事業費情報(単位:円)	
	H30年度担当	H31年度担当					指標名	目標値	実績値			指標名	目標値	実績値	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
1	東 智宏	溝口実希	監査委員費	監査事業	町行政等	町の財務事務の執行や経営に係る事業の管理のほか、行政事務全般について、事務の適法性・能率性の確保を図るため、監査委員監査を実施する。	29	100	100	(事業の活動内容) ・例月出納検査を毎月実施 ・決算審査を年1回(4日程度)実施。 ・定期監査を年1回(4日程度)実施。 ・財政健全化法に係る監査(基金運用状況審査・健全化判断比率審査・資金不足比率審査)を年1回実施。 (業務・サービスの改善内容) ・監査委員の指摘に対する町からの回答で、時間がかかっている課に対しては所属長を通じてアプローチを行う。 ・口頭での指摘や意見に対して、改善が見られない場合には、町長に対して意見書を提出し、問題点の早期解決を図る。 ・監査委員の指摘に対しての各課の改善は、監査委員と協議を行い、ホームページで公表するなどし、情報提供を検討する。	(パートナー名と果たす役割) ・監査委員 ・法令等に基づく公正かつ能率的な監査の実施。 (課の果たす役割) ・書記 ・日程調整 ・監査委員研修の推奨	29	16	16	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
							30	100	100			30	16	35		
							31	100				31	16		8,244,833	8,636,095
2							29								H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
							30									
							31									
3							29	3							H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
							30									
							31									
4							29								H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
							30									
							31									
5							29								H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
							30									
							31									
6							29								H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
							30									
							31									
7							29								H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
							30									
							31									
8							29								H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
							30									
							31									
9							29								H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
							30									
							31									
10							29								H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
							30									
							31									

11	29	(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)	29			H29年度	H30年度
	30	(業務・サービスの改善内容)	(課の果たす役割)	30				
	31			31				
12	29	(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)	29			H29年度 決算額	H30年度 決算額 (決算後記入)
	30	(業務・サービスの改善内容)	(課の果たす役割)	30				
	31			31				
13	29	(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)	29			H29年度 決算額	H30年度 決算額 (決算後記入)
	30	(業務・サービスの改善内容)	(課の果たす役割)	30				
	31			31				
14	29	(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)	29			H29年度 決算額	H30年度 決算額 (決算後記入)
	30	(業務・サービスの改善内容)	(課の果たす役割)	30				
	31			31				
15	29	(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)	29			H29年度 決算額	H30年度 決算額 (決算後記入)
	30	(業務・サービスの改善内容)	(課の果たす役割)	30				
	31			31				
16	29	(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)	29			H29年度	H30年度
	30	(業務・サービスの改善内容)	(課の果たす役割)	30				
	31			31				
17	29	(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)	29			H29年度 決算額	H30年度 決算額 (決算後記入)
	30	(業務・サービスの改善内容)	(課の果たす役割)	30				
	31			31				
18	29	(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)	29			H29年度	H30年度
	30	(業務・サービスの改善内容)	(課の果たす役割)	30				
	31			31				
19	29	(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)	29			H29年度	H30年度
	30	(業務・サービスの改善内容)	(課の果たす役割)	30				
	31			31				
20	29	(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)	29			H29年度	H30年度
	30	(業務・サービスの改善内容)	(課の果たす役割)	30				
	31			31				

事業費合計		
決算額	8,244,833	8,636,095

# 南伊勢町事業管理シート

 H 31 年度事業計画用

 H 30 年度事業結果用

事業名	商工団体活動支援事業	平成30年度	課名	観光商工課	所属 長名	山本高弘	担当 係長 名	島田将秀
		平成31年度		観光商工課		山本高弘		島田将秀

会計名	一般会計	科目名(目)	・商工事業費 ・ ・
-----	------	--------	------------------

総合 計画	まちづくりの目標				
	政策名				
	施策名				
	細施策名				
	施策のめざす姿				
	町民との協働				
	まちづくり指標		現状値 (H26)		目標値 (H30)

**1. 施策における位置づけ** ※施策に基づかない複数の事業を下支えする内部管理経費や繰出金、予備費などの経費は省略可

① 施策の基本方向	
② 施策からみた事業の展開体系図	
③ 施策の展開の説明	

2. 事業の意図と目標(細事業を引用する場合は、事業整理表の番号を付すこと)

①事業意図【事業のめざす姿】	②事業概要

③事業の主要指標と目標値 ※指標の定量化が難しいものは定性的な表現を用いて、達成状態のイメージを明確に記述すること

指標名			平成29年度	平成30年度	平成31年度
①	成果指標	目標値			
		実績値			
	活動指標	目標値			
		実績値			
②	成果指標	目標値			
		実績値			
	活動指標	目標値			
		実績値			

3. 平成 30 年度の成果

(1) 事業成果 (事業計画用の場合は計画時点での成果見込を記述)

--	--

(2) 業務・サービスの改善の取組結果

サービス	結果	
	低下	向上
人 (定数・能力)		
モノ		
コスト		
時間		
情報・ ノウハウ		
協働関係・ 地域文化・		
住民サービス		

4. 平成 30 年度事業の総合評価

(事業計画用の場合は計画時点での評価見込を記述)

事業の成果(所属長評価)			評価の説明	
① 達成度	事業目標は、達成できたか。	達成度 (4段階評価)		
② 効率性	効率度:事業は、効率的に推進できたか	効率度 (4段階評価)		
③ 必要性	協働のパートナーとの役割分担は適切だったか。(公的関与の必要性として妥当か)	必要性 (適・要改善)		
④ 有効性	1.事業の意図に対して、指標の設定は適切だったか	妥当性 (適・要改善)		
	2. 事業の意図に対して、細事業の構成は適切だったか(過不足はないか)	過不足度 (適・要改善)		
	3. 施策全体からの事業の展開、事業の意図は適切だったか	方向性 (適・要改善)		
今後の課題など各評価を踏まえた総括				

## 5. 平成 31 年度に向けた改善の方向性

平成31年度の方向性	平成 31 年度の方向性に影響を与える環境要因	
	外部環境	内部環境
(事業の方向性)	(町民ニーズ、地域環境) 【機会(強み)】  【脅威と課題】	(事業推進) 【強み】  【弱みと課題】
(業務・サービスの改善の方向性)	(他自治体、国、地域動向等) 【機会(強み)】  【脅威と課題】	(業務・サービスの改善) 【強み】  【弱みと課題】

## 6. 事業内容

平成 31 年度	<p><b>(事業の活動内容)</b> 地域内商工業者の経営改善に関する相談とその指導、地域内経済振興を図るための諸活動及び社会一般の福祉の増進に資することを目的とする南伊勢町商工会の事業活動(経営改善普及事業、総合振興事業、小規模事業者経営改善資金利子補給事業)が、円滑に遂行されるよう補助金による支援を行う。</p> <p><b>(業務・サービス改善の活動内容)</b> 町と南伊勢町商工会とが定期的に協議する場を設け、互いの事業進捗の確認や課題解決策などを検討し、事業に反映する。</p>
平成 32 年度 (前年度と異なる内容のみ記入)	

## 7. 事業費予算内訳 (平成 31 年)

※査定後に事業費に変更があれば各課で修正すること

(単位:千円)

経費区分		事業費	国・県	町債	その他	一般財源
枠外 経分 対象	義務的経費	①人件費	0			
		②公債費	0			
		③扶助費	0			
	④繰出金のうち義務的経費相当分	0				
	⑤一部事務組合負担金	0				
対象 経費	政策的経費	⑥重点事業分	0			
		⑦その他分	0			
	⑧ ①~⑦以外	12,600		4,600		8,000
合計		12,600	0	4,600	0	8,000

(※細事業ごとに主担当者が記入すること)

※指標の定量化が難しいものについては定性的な表現を用いて、達成状態のイメージを明確に表すこと

細事業番号	担当者名		予算科目名(目)の名称	細事業名	対象	意図(事業のめざす姿)	成果指標 ※新規事業は事業開始年度以降の値を記入			事業内容	協働のパートナーと果たす役割	活動指標 ※新規事業は事業開始年度以降の値を記入			事業費情報(単位:円)					
	H30年度担当	H31年度担当					指標名	目標値	実績値			指標名	目標値	実績値	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)				
1	島田将秀	島田将秀	商工事業費	商工会活動支援事業	南伊勢町商工会	商工会の目的を果たすため、計画通り事業が遂行される。	商工会員数	29	474	471	(事業の活動内容) 南伊勢町商工会の事業活動(経営改善普及事業費、総合振興費、利子補給事業費)への支援  (業務・サービスの改善内容) 商工会が主催するイベントの集客増加を図るために支援項目を追加	(パートナー名と果たす役割) 南伊勢町商工会が、商工会の目的を果たすために事業を実施  (課の果たす役割) 南伊勢町商工会の事業活動への支援、定期的な進捗確認とミーティング	商工会との事業進捗会議	29	6	6	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)		
								30	474	464				30	6	4				
								31	474					31	4				9,996,000	9,939,000
2								29			(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)				H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)			
								30										30		
								31										31		
3								29			(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)				H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)			
								30										30		
								31										31		
4								29			(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)				H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)			
								30										30		
								31										31		
5								29			(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)				H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)			
								30										30		
								31										31		
6								29			(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)				H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)			
								30										30		
								31										31		
7								29			(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)				H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)			
								30										30		
								31										31		

事業費合計		
決算額	9,996,000	9,939,000



# 南伊勢町事業管理シート

 H 31 年度事業計画用

 H 30 年度事業結果用

事業名	地域ブランド推進事業	平成30年度	課名	観光商工課	所属 長名	山本高弘	担当 係長 名	島田将秀
		平成31年度		観光商工課		山本高弘		島田将秀

会計名	一般会計	科目名(目)	・商工事業費 ・ ・
-----	------	--------	------------------

総合 計画	まちづくりの目標				
	政策名				
	施策名				
	細施策名				
	施策のめざす姿				
	町民との協働				
	まちづくり指標		現状値 (H26)		目標値 (H30)

**1. 施策における位置づけ** ※施策に基づかない複数の事業を下支えする内部管理経費や繰出金、予備費などの経費は省略可

① 施策の基本方向	
② 施策からみた事業の展開体系図	
③ 施策の展開の説明	

2. 事業の意図と目標(細事業を引用する場合は、事業整理表の番号を付すこと)

①事業意図【事業のめざす姿】	②事業概要

③事業の主要指標と目標値 ※指標の定量化が難しいものは定性的な表現を用いて、達成状態のイメージを明確に記述すること

指標名			平成29年度	平成30年度	平成31年度
①	成果指標	目標値			
		実績値			
	活動指標	目標値			
		実績値			
②	成果指標	目標値			
		実績値			
	活動指標	目標値			
		実績値			

3. 平成 30 年度の成果

(1)事業成果 (事業計画用の場合は計画時点での成果見込を記述)

(2)業務・サービスの改善の取組結果

サービス	結果	
	低下	向上
人 (定数・能力)		
モノ		
コスト		
時間		
情報・ ノウハウ		
協働関係・ 地域文化・		
住民サービス		

4. 平成 30 年度事業の総合評価

(事業計画用の場合は計画時点での評価見込を記述)

事業の成果(所属長評価)			評価の説明	
① 達成度	事業目標は、達成できたか。	達成度 (4段階評価)		
② 効率性	効率度:事業は、効率的に推進できたか	効率度 (4段階評価)		
③ 必要性	協働のパートナーとの役割分担は適切だったか。(公的関与の必要性として妥当か)	必要性 (適・要改善)		
④ 有効性	1.事業の意図に対して、指標の設定は適切だったか	妥当性 (適・要改善)		
	2. 事業の意図に対して、細事業の構成は適切だったか(過不足はないか)	過不足度 (適・要改善)		
	3. 施策全体からの事業の展開、事業の意図は適切だったか	方向性 (適・要改善)		
今後の課題など各評価を踏まえた総括				

## 5. 平成 31 年度に向けた改善の方向性

平成31年度の方向性	平成 31 年度の方向性に影響を与える環境要因	
	外部環境	内部環境
(事業の方向性)	(町民ニーズ、地域環境) 【機会(強み)】  【脅威と課題】	(事業推進) 【強み】  【弱みと課題】
(業務・サービスの改善の方向性)	(他自治体、国、地域動向等) 【機会(強み)】  【脅威と課題】	(業務・サービスの改善) 【強み】  【弱みと課題】

## 6. 事業内容

平成 31 年度	<p><b>(事業の活動内容)</b> 南伊勢町の豊かな自然、独自の資源および伝統的な加工技術などを活かした魅力ある製品等を南伊勢ブランドとして認定し、それらを広くプロモーションすることで町全体のイメージの向上を図る。</p> <p><b>(業務・サービス改善の活動内容)</b> 平成31年度より、認定品を生産する事業者の販売促進活動を支援することで、南伊勢ブランドの認知度の向上と、生産者の生産意欲の向上を図ります。</p>
平成 32 年度 (前年度と異なる内容のみ記入)	

## 7. 事業費予算内訳 (平成 31 年)

※査定後に事業費に変更があれば各課で修正すること

(単位:千円)

経費区分		事業費	国・県	町債	その他	一般財源
枠外 経分 対象	義務的経費	①人件費	0			
		②公債費	0			
		③扶助費	0			
	④繰出金のうち義務的経費相当分	0				
	⑤一部事務組合負担金	0				
対象 経費	政策的経費	⑥重点事業分	0			
		⑦その他分	0			
	⑧ ①~⑦以外	2,729		2,700		29
合計		2,729	0	2,700	0	29

(※細事業ごとに担当者が記入すること)

※指標の定量化が難しいものについては定性的な表現を用いて、達成状態のイメージを明確に表すこと

細事業番号	担当者名		予算科目名(目)の名称	細事業名	対象	意図(事業のめざす姿)	成果指標 ※新規事業は事業開始年度以降の値を記入			事業内容	協働のパートナーと果たす役割	活動指標 ※新規事業は事業開始年度以降の値を記入			事業費情報(単位:円)				
	H30年度担当	H31年度担当					指標名	目標値	実績値			指標名	目標値	実績値	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)			
1	道清美帆	道清美帆	商工事業費	南伊勢ブランド認定事業	町内事業者等	優れた町産品等を南伊勢ブランドとして認定する制度を継続することで、町内事業者の商品力や新製品開発意欲の向上を図る	申請件数	29	3	1	(事業の活動内容) 南伊勢ブランド認定審査および更新手続き  (業務・サービスの改善内容)  (課の果たす役割) 審査を円滑に進めるための事務	(パートナー名と果たす役割) 町外有識者で構成する南伊勢ブランド認定委員会による南伊勢ブランド認定申請審査	審査回数	29	1	1	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)	
								30	2	1									
								31	2										40,040
2	道清美帆	道清美帆	商工事業費	南伊勢ブランド認定品啓発事業	消費者	南伊勢ブランド認定制度および認定品の啓発活動を実施し、南伊勢町全体のイメージを高めるとともに、南伊勢産物の普及向上を図る	南伊勢ブランド認定品(認定年度から)の売上増加率	29	140	282	(事業の活動内容) 南伊勢ブランド認定制度および認定品の啓発活動事業  (業務・サービスの改善内容)	(パートナー名と果たす役割) 南伊勢ブランド認定品を所有する事業者による南伊勢ブランド認定品の啓発活動  (課の果たす役割) 南伊勢ブランド認定品の啓発用品作成と販売ブース出店等による啓発活動の実施	販売ブース出店等による啓発活動の実施	29	2	2	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)	
								30	160	264									
								31	200										348,776
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			

事業費合計		
決算額	388,816	774,894

# 南伊勢町事業管理シート

 H 31 年度事業計画用

 H 30 年度事業結果用

事業名	産業活性化事業	平成30年度	課名	観光商工課	所属 長名	山本高弘	担当 係長 名	島田将秀
		平成31年度		観光商工課		山本高弘		島田将秀

会計名	一般会計	科目名(目)	・商工事業費 ・ ・
-----	------	--------	------------------

総合 計画	まちづくりの目標				
	政策名				
	施策名				
	細施策名				
	施策のめざす姿				
	町民との協働				
	まちづくり指標		現状値 (H26)		目標値 (H30)

**1. 施策における位置づけ** ※施策に基づかない複数の事業を下支えする内部管理経費や繰出金、予備費などの経費は省略可

① 施策の基本方向	
② 施策からみた事業の展開体系図	
③ 施策の展開の説明	

2. 事業の意図と目標(細事業を引用する場合は、事業整理表の番号を付すこと)

①事業意図【事業のめざす姿】	②事業概要

③事業の主要指標と目標値 ※指標の定量化が難しいものは定性的な表現を用いて、達成状態のイメージを明確に記述すること

指標名			平成29年度	平成30年度	平成31年度
①	成果指標	目標値			
		実績値			
	活動指標	目標値			
		実績値			
②	成果指標	目標値			
		実績値			
	活動指標	目標値			
		実績値			

3. 平成 30 年度の成果

(1)事業成果 (事業計画用の場合は計画時点での成果見込を記述)

(2)業務・サービスの改善の取組結果

サービス	結果	
	低下	向上
人 (定数・能力)		
モノ		
コスト		
時間		
情報・ ノウハウ		
協働関係・ 地域文化・		
住民サービス		

4. 平成 30 年度事業の総合評価

(事業計画用の場合は計画時点での評価見込を記述)

事業の成果(所属長評価)			評価の説明
① 達成度	事業目標は、達成できたか。	達成度 (4段階評価)	
② 効率性	効率度:事業は、効率的に推進できたか	効率度 (4段階評価)	
③ 必要性	協働のパートナーとの役割分担は適切だったか。(公的関与の必要性として妥当か)	必要性 (適・要改善)	
④ 有効性	1.事業の意図に対して、指標の設定は適切だったか	妥当性 (適・要改善)	
	2. 事業の意図に対して、細事業の構成は適切だったか(過不足はないか)	過不足度 (適・要改善)	
	3. 施策全体からの事業の展開、事業の意図は適切だったか	方向性 (適・要改善)	
今後の課題など各評価を踏まえた総括			



## 5. 平成 31 年度に向けた改善の方向性

平成31年度の方向性	平成 31 年度の方向性に影響を与える環境要因	
	外部環境	内部環境
(事業の方向性)	(町民ニーズ、地域環境) 【機会(強み)】	(事業推進) 【強み】
	【脅威と課題】	【弱みと課題】
(業務・サービスの改善の方向性)	(他自治体、国、地域動向等) 【機会(強み)】	(業務・サービスの改善) 【強み】
	【脅威と課題】	【弱みと課題】

## 6. 事業内容

平成 31 年度	<p><b>(事業の活動内容)</b> 町内の仕事を増加させるため、町内事業者の生産意欲の向上と販路拡大への支援を取組むとともに、みなみいせ商会の水産加工業の支援と産業課題改善事業の試行を進め、町内産業の活性化を図ります。</p> <p><b>(業務・サービス改善の活動内容)</b> 平成31年度より、南伊勢町の地域資源を活かした特産品の開発を、補助金により支援します。</p>
平成 32 年度 (前年度と異なる内容のみ記入)	

## 7. 事業費予算内訳 (平成 31 年)

※査定後に事業費に変更があれば各課で修正すること

(単位:千円)

経費区分		事業費	国・県	町債	その他	一般財源
枠外 経分 対象	義務的経費	①人件費	0			
		②公債費	0			
		③扶助費	0			
	④繰出金のうち義務的経費相当分	0				
	⑤一部事務組合負担金	0				
対象 経費	政策的経費	⑥重点事業分	0			
		⑦その他分	0			
	⑧ ①~⑦以外	31,050	10,000	12,000		9,050
合計		31,050	10,000	12,000	0	9,050

(※細事業ごとに主担当者が記入すること)

※指標の定量化が難しいものについては定性的な表現を用いて、達成状態のイメージを明確に表すこと

細事業番号	担当者名		予算科目名(目)の名称	細事業名	対象	意図(事業のめざす姿)	成果指標 ※新規事業は事業開始年度以降の値を記入			事業内容	協働のパートナーと果たす役割	活動指標 ※新規事業は事業開始年度以降の値を記入			事業費情報(単位:円)			
	H30年度担当	H31年度担当					指標名	目標値	実績値			指標名	目標値	実績値	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)		
1	島田将秀	道清美帆	商工事業費	町物産普及啓発事業	町内事業者	南伊勢物産の普及啓発、販路拡大	町内事業者の物販イベント出店者数	29	10	36	(事業の活動内容) 都市部等で開催される物販イベントの情報を町内事業所へ提供し出店を促すと共に、町内物産の販路拡大、普及啓発を図る。  (業務・サービスの改善内容)	(パートナー名と果たす役割) 町内事業所および団体による都市部での物販イベントの出展  (課の果たす役割) 物販イベント情報の提供、および販売活動の支援。町物産の普及啓発活動	物販イベント情報の提供数	29	15	20	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
								30	10	29				30	15	22		
								31	15					31	20	2,611,840		
2	道清美帆	道清美帆	商工事業費	産業活性化団体支援事業	町内事業者	町内事業所の事業力の向上	研修参加人数	29	100	55	(事業の活動内容) 町内事業所が集い、互いの事業力を向上することを目的に、販売促進や新商品開発、人材育成等について事業を実施する団体への支援  (業務・サービスの改善内容) 団体の自立を目的に、補助額を減額	(パートナー名と果たす役割) 南伊勢ブランド開発実行委員会による、販売促進や新商品開発、人材育成等の事業活動  (課の果たす役割) 事業活動が円滑に行われるための補助と支援	研修実施数	29	5	3	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
								30	80	58				30	5	3		
								31	80					31	5	375,000		
3	島田将秀	島田将秀	商工事業費	みなみいせ商会設立準備事業	産業活性化組織	産業活性化事業を継続的に実施する組織(みなみいせ商会)の設立	みなみいせ商会の設立	29			(事業の活動内容) 産業活性化事業を継続的に実施する組織の設立準備業務の実施  (業務・サービスの改善内容)	(パートナー名と果たす役割) 平成28年度に設立検討業務を実施した株式会社Jプロデュースが、そのノウハウを生かし、組織の設立準備を実施  (課の果たす役割) 株式会社Jプロデュースと協働し、組織設立の準備を実施	みなみいせ商会(仮)設立準備事業の委託	29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
								30	1	1				30	1	1		
								31						31		0		
4	島田将秀	島田将秀	商工事業費	産業課題改善事業	産業活性化組織	南伊勢町の産業課題を改善するため、その課題の調査研究や改善のための試行事業の実施を行い、本事業化を目指す。	産業課題改善事業の調査研究および試行事業の実施	29			(事業の活動内容) 株式会社みなみいせ商会に、町の産業課題改善事業を委託し、課題の調査研究や改善のための試行事業を実施し、その事業の本事業化を検討する。  (業務・サービスの改善内容)	(パートナー名と果たす役割) 株式会社みなみいせ商会による、調査研究および試行事業の実施、本事業化の検討  (課の果たす役割) 水産農林課、行政経営課、観光交流係などの他部署と協議し、町の産業課題の洗い出しと、その改善策を検討する。	産業課題改善事業の調査研究および試行事業の委託	29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
								30	1	1				30	1	1		
								31						31		0		
5	島田将秀	島田将秀	商工事業費	みなみいせ商会支援事業	株式会社みなみいせ商会	みなみいせ商会の自立	水産加工施設の設置	29			(事業の活動内容) 組織が自立できるよう、みなみいせ商会への(人的、設備投資)支援の実施  (業務・サービスの改善内容)	(パートナー名と果たす役割) 水産加工事業を軌道に乗せ、その収益による自立  (課の果たす役割) 地域おこし協力隊による人的支援および水産加工施設の整備への補助金支援	水産加工施設整備への支援	29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
								30	2	2				30	1	1		
								31						31		#####		
6								29			(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)	29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)	
								30					30					
								31					31					
7								29			(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)	29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)	
								30					30					
								31					31					

事業費合計		
決算額	2,986,840	#####

# 南伊勢町事業管理シート

 H 31 年度事業計画用

 H 30 年度事業結果用

事業名	雇用対策事業	平成30年度	課名	観光商工課	所属 長名	山本高弘	担当 係長 名	島田将秀
		平成31年度		観光商工課		山本高弘		島田将秀

会計名	一般会計	科目名(目)	・商工事業費 ・ ・
-----	------	--------	------------------

総合 計画	まちづくりの目標				
	政策名				
	施策名				
	細施策名				
	施策のめざす姿				
	町民との協働				
	まちづくり指標		現状値 (H26)		目標値 (H30)

**1. 施策における位置づけ** ※施策に基づかない複数の事業を下支えする内部管理経費や繰出金、予備費などの経費は省略可

① 施策の基本方向	
② 施策からみた事業の展開体系図	
③ 施策の展開の説明	

2. 事業の意図と目標(細事業を引用する場合は、事業整理表の番号を付すこと)

①事業意図【事業のめざす姿】	②事業概要

③事業の主要指標と目標値 ※指標の定量化が難しいものは定性的な表現を用いて、達成状態のイメージを明確に記述すること

指標名			平成29年度	平成30年度	平成31年度
①	成果指標	目標値			
		実績値			
	活動指標	目標値			
		実績値			
②	成果指標	目標値			
		実績値			
	活動指標	目標値			
		実績値			

3. 平成 30 年度の成果

(1)事業成果 (事業計画用の場合は計画時点での成果見込を記述)

(2)業務・サービスの改善の取組結果

サービス	結果	
	低下	向上
人 (定数・能力)		
モノ		
コスト		
時間		
情報・ ノウハウ		
協働関係・ 地域文化・		
住民サービス		

4. 平成 30 年度事業の総合評価

(事業計画用の場合は計画時点での評価見込を記述)

事業の成果(所属長評価)			評価の説明	
① 達成度	事業目標は、達成できたか。	達成度 (4段階評価)		
② 効率性	効率度:事業は、効率的に推進できたか	効率度 (4段階評価)		
③ 必要性	協働のパートナーとの役割分担は適切だったか。(公的関与の必要性として妥当か)	必要性 (適・要改善)		
④ 有効性	1.事業の意図に対して、指標の設定は適切だったか	妥当性 (適・要改善)		
	2. 事業の意図に対して、細事業の構成は適切だったか(過不足はないか)	過不足度 (適・要改善)		
	3. 施策全体からの事業の展開、事業の意図は適切だったか	方向性 (適・要改善)		
今後の課題など各評価を踏まえた総括				

## 5. 平成 31 年度に向けた改善の方向性

平成31年度の方向性	平成 31 年度の方向性に影響を与える環境要因	
	外部環境	内部環境
(事業の方向性)	(町民ニーズ、地域環境) 【機会(強み)】	(事業推進) 【強み】
	【脅威と課題】	【弱みと課題】
(業務・サービスの改善の方向性)	(他自治体、国、地域動向等) 【機会(強み)】	(業務・サービスの改善) 【強み】
	【脅威と課題】	【弱みと課題】

## 6. 事業内容

平成 31 年度	<p>(事業の活動内容) 広域連携による伊勢志摩への企業誘致の実施や町内事業者の雇用創出を伴う事業活動への支援を行うことで、働く場の確保を図ります。また、求職者支援および若者の就労機会の拡大への支援を行うことで、南伊勢町での定住定職を促進します。</p> <p>(業務・サービス改善の活動内容)</p>
平成 32 年度 (前年度と異なる内容のみ記入)	

## 7. 事業費予算内訳 (平成 31 年)

※査定後に事業費に変更があれば各課で修正すること

(単位:千円)

経費区分		事業費	国・県	町債	その他	一般財源
枠外 経分 対象	義務的経費	①人件費	0			
		②公債費	0			
		③扶助費	0			
	④繰出金のうち義務的経費相当分	0				
	⑤一部事務組合負担金	0				
対象 経費	政策的経費	⑥重点事業分	0			
		⑦その他分	0			
	⑧ ①～⑦以外	7,733	375	1,200		6,158
合計		7,733	375	1,200	0	6,158

(※細事業ごとに主担当者が記入すること)

※指標の定量化が難しいものについては定性的な表現を用いて、達成状態のイメージを明確に表すこと

細事業番号	担当者名		予算科目名(目)の名称	細事業名	対象	意図(事業のめざす姿)	成果指標 ※新規事業は事業開始年度以降の値を記入			事業内容	協働のパートナーと果たす役割	活動指標 ※新規事業は事業開始年度以降の値を記入			事業費情報(単位:円)			
	H30年度担当	H31年度担当					指標名	目標値	実績値			指標名	目標値	実績値	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)		
1	道清美帆	道清美帆	商工事業費	就業対策事業	南伊勢町の産業に関心のある若者	町民および町内への移住希望者に向けた就業相談窓口を設置し、求職者を定職に導く	就業相談の件数(窓口+相談会+電話)	29	24	22	(事業の活動内容) 就業相談窓口を設置し、求職者を定職に導く  (業務・サービスの改善内容)  (課の果たす役割) 就職指導員による就業相談を円滑に行なっていたための事務対応	(パートナー名と果たす役割) ハローワーク伊勢と協働し、求職者への求人情報の提供を行い、定職定住を促進する。	就職相談会開催数	29	12	20	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
								30	30	26				30	20	16		
								31	30					31	11	0		
2	島田将秀	道清美帆	商工事業費	雇用促進事業	町内事業者	町内事業所の事業活動拡大等による雇用拡大	認定事業による雇用増加数(計画数)	29	10	9	(事業の活動内容) 町内の雇用増加を伴う事業活動計画を公募し、適切なものを認定し補助金により支援する  (業務・サービスの改善内容)	(パートナー名と果たす役割) 町内事業者等による雇用の増加を伴う事業活動の実施	事業活動計画の応募数	29	5	8	H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)
								30	6	0				30	3	0		
								31	6					31	3	0		
3							29			(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)		29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)	
	30			30														
	31			31														
4							29			(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)		29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)	
	30			30														
	31			31														
5							29			(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)		29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)	
	30			30														
	31			31														
6							29			(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)		29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)	
	30			30														
	31			31														
7							29			(事業の活動内容)	(パートナー名と果たす役割)		29			H29年度決算額	H30年度決算額(決算後記入)	
	30			30														
	31			31														

事業費合計		
決算額	0	9,112,000